

1. 広東省

1. 広西チワン族自治区で広東・広西貧困救済協力第2回連絡会議が開催

●4日、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長がチームを率いて広西チワン族自治区を訪れ、広西・広東の貧困救済マッチング協力を行うとともに、梧州市で開かれた上記会議に出席。彭清華・同自治区党書記、陳武・同自治区主席も同席した。胡書記は、習近平・総書記の重要講話の精神を揺るぎなく貫徹し、両地域の貧困救済協力という任務を完遂し、両地域の協力水準を絶えず向上させなければならないと強調（9月5日付『南方日報』）。

2. 省幹部による海外政府要人との会談等

●4日、徐少華・省人代副主任（前常務副省長）がバヌアツ議会副議長率いる視察団一行と会談。広東省側は観光分野での協力、バヌアツ側は貿易、漁業、文化、インフラ建設等の分野での協力を希望（9月5日付『南方日報』）。

●4日、袁宝成・副省長が「チリ・ウィーク」に出席するため広東省を訪れたエドゥアルド・フレイ元チリ大統領一行と会談。広東省側は銅・鉄資源、木材、農・林・漁業製品の貿易、観光分野での協力、チリ側は経済・貿易、インフラ建設、観光、サッカー等の分野での協力を希望（9月5日付『南方日報』）。

●4日、陳雲賢・省政府党組織メンバーがカナダ・ノバスコシア州知事一行と会談。双方は引き続き観光、海洋経済、教育（留学）等の分野での協力を拡大させていく（9月5日付『南方日報』）。

●5日、黄寧生・副省長が豪ニューサウス・ウェールズ州産業相一行と会談。広東省側は金融、教育、衛生、科学技術、文化等の分野での協力、ニューサウス・ウェールズ州側は経済・貿易、農業、科学技術分野での協力を希望（9月6日付『南方日報』）。

●6日午後、王栄・省政協主席が在広州アフリカ各国領事団一行と会談。王主席は初めに広東省の経済・社会発展状況と省政協の基本状況について紹介するとともに、本年8月のアフリカ訪問について振り返り、「一帯一路」建設を契機とし、経済・貿易、観光、文化、医療等の分野における同省とアフリカ諸国の友好交流と実務協力を強化したいと述べた（9月8日付『南方日報』）。

●7日、黄寧生・副省長がブラジルの建国レセプションに出席。本年上半期の広東省とブラジルの貿易総額は40.5億米ドル（前年同期比27.6%増）だった（9月8日付『南方日報』）。

3. 胡春華・省党書記が肇慶市、雲浮市を視察

●4日～6日、胡春華・省党書記が肇慶市、雲浮市を視察し、次のように強調した。「4つの堅持、3つの支え、2つの率先」という習近平・総書記の広東省に対する要求を真剣に学習・貫徹し、産業に力を集め、新区に焦点を定め、チャンスをつかんで、発展を加速させなければならない。馬興瑞・省長も雲浮市の視察に同行（9月7日付『南方日報』）。

4. 韶関市翁源県がバイオマス発電プロジェクトの誘致に成功

●6日午前、韶関市翁源県で、投資総額10億元、年間生産額8億元の韶能集団による翁源県バイオマス発電プロジェクトの署名式が行われた。同県は署名後、できるだけ早く専門チームを構成し、同プロジェクトに適した土地の選定や事業計画等の初期業務を全力で行い、一日も早く発電できるよう推進していくとした（9月7日付『南方日報』）。

5. 仏山市南海区が初期投資額120億元の新エネルギー車プロジェクトの誘致に成功

●7日、科学技術部と国連開発計画による「中国燃料電池自動車の商業化を促進する開発プロジェクト」の仏山プロジェクト署名式ならびに南海区新エネルギー自動車（水素エネルギー）産業誘致プロモーションが仏山市南海区で行われた。このたびのイベントでは、同区が長江水素自動車（仏山）研究開発センターと完成車生産プロジェクトの誘致に成功したことが最大のハイライトとなった（9月7日付『南方日報』）。

6. 広東省と中国平安集団が戦略的提携

●7日、省政府と中国平安集団（保険会社）が「中国・広東発展（平安）基金の設立に関する協力協定」、「広東・汕尾・汕頭鉄道、江西・深圳鉄道プロジェクト協力協定」に署名。胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が署名に立ち会った。双方は広東省の今後5年間の発展計画・インフラ投資のニーズに向けて、1500億元規模の同基金を共同で立ち上げ、主に大型インフラ建設へ投資していくこととなった（9月8日付『南方日報』）。

7. 省党常務委員会議の開催

●8日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、中央が開催した大衆・社会団体の改革に関する座談会の精神を伝達・学習し、広東省がそれを実施するための意見について検討（9月9日付『南方日報』）。

8. ギニア研修グループが汕頭市を視察

●先頃、ギニアの税関、貿易省、国防省の公務員と大統領府が推薦した一部の企業の経営陣で構成された商務部「2017年ギニア関税障壁及び貿易救済問題研修グループ」一行33人が汕頭市を訪れ、同市の経済発展の成果を実地体験し、潮州・汕頭地域と中華文化に対する理解を深めた。ギニアと汕頭市の企業は越境電子商取引における協力を推進していく（9月9日付『南方日報』）。

9. 東莞市、広州市南沙区が中国建設銀行と戦略的提携

●8日、中国建設銀行（CCB）広東支店はCCBアジア、CCBインターナショナル、CCBマカオ支店と連携し、東莞市政府、広州市南沙区政府とそれぞれ2000億元、1000億元の協力協定に署名し、広東・香港・マカオ・ベイエリア建設を手助けしていくこととなった（9月9日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記が知的財産権の保護と運用に関する特別視察を実施

●4日、任学鋒・市党書記が知的財産権の保護と運用に関し、国家知的財産権局特許審査協力広東センターと広州知的財産権裁判所を視察。また、高新興科技集団（Gosuncn Technology Group）をはじめとするハイテク企業を訪れ、知的財産権の保護・運用状況について理解を深めるとともに、座談会を主宰し、状況報告と意見・提案を聴取し、次の業務を手配した（9月5日付『広州日報』）。

2. 黄浦区、広州開発区が中欧「一帯一路」産業基金による高度医療プロジェクトの誘致に成功

●5日、広州・バルセロナ国際病院、バルセロナ大学医学部・広州医科大学合同教育プロジェクト、パンテオン医療センターが黄浦区、広州開発区に正式に拠点を構えることとなった。これは中欧「一帯一路」産業基金が欧州企業を広州市に誘致するという「資本呼び込み」の役割を果たした最初の顕著な成果である（9月6日付『南方日報』、『広州日報』）。

3. 広州開発区がP & G中国デジタル・イノベーションセンターの誘致に成功

●5日、日用品のグローバル大手企業であるP & Gと黄浦区政府、広州開発区管理委員会がP & G中国デジタル・イノベーションセンター投資プロジェクト協力協定に署名。P & Gは1億米ドルを投資し、同社が現在中国で行なっているデジタル技術、ビッグデータ、サプライチェーンのデジタル化等の研究を整理統合し、デジタル技術革新を基礎としたビジネスモデルへの転換・高度化を加速させていく（9月6日付『南方日報』、『広州日報』）。

4. テルアビブ・ヤフォ市が広州市の31番目の友好都市に

●4日、テルアビブで、欧陽衛民・市党副書記とイスラエルのテルアビブ・ヤフォ市副市長が「中華人民共和国広州市とイスラエル・テルアビブ・ヤフォ市が友好・交流・協力を強化するための覚書」に署名（9月8日付『広州日報』）。

5. 黄浦区がNEM産業イノベーション集積地の構築へ

●6日午前、東方電気集団と恒運集団が戦略的協力意向書に署名し、黄浦区、広州開発区に新エネルギー・新素材（NEM）産業の研究開発センター、インキュベーター、アクセラレーター、パイロット試験、産業化プラットフォームを共同で建設し、NEM産業イノベーション集積地を形成していくこととなった（9月8日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 鄭紅・省檢察長一行が広東自貿区前海・蛇口エリアの檢察院を視察

●5日、鄭紅・省檢察長一行が広東自貿区前海・蛇口エリアの檢察院を訪れ、深圳市の檢察機關も広東・香港・マカオ・ベイエリア建設に貢献し、司法の面から右を保障するよう要求した。その後、省檢察院視察・指導チームが座談会を開催。李華楠・市政法書記が出席するとともに講話を行なった（9月6日付『深圳特区報』）。

2. 深圳市で国内初のLNGスマート検査・監督・管理モデル区がスタート

●5日、深圳検査検疫局、広東大鵬LNG有限公司、中国海洋石油（CNOOC）深圳LNG有限公司、深圳市ガス集団株式有限公司が協力覚書に署名し、国内初の深圳輸入LNGスマート検査・監督・管理モデル区を共同で建設していくこととなった。これにより、深圳市東部の新エネルギー拠点における検査・監督・管理は、完全に新しい「スマート時代」に入った（9月6日付『深圳特区報』）。

3. 第5回深圳国際低炭素シティフォーラムの開催

●7日午前、上記フォーラムが開幕し、30以上の国と地域の政府関係者、関連業界の精鋭、専門学者が深圳市に集まり、「気候変動に対する責任を共に担い、グリーン低炭素発展を共に促進しよう」というテーマをめぐって意見交換を行なった。アンナ・モハメド国連副事務総長、張勇・国家発展改革委員会副主任、王偉中・市党書記、林少春・常務副省長等が開幕式に出席するとともに挨拶を行なった（9月8日付『深圳特区報』）。

4. 王偉中・市党書記が在中国イタリア大使一行と会談

●7日午前、上記会談で王偉中・市党書記は市党委員会・市政府を代表し、エットーレ・フランセスコ・セキ在中國イタリア大使の深圳市初訪問に歓迎の意を表し、次のように述べた。双方は両国元首の会談で合意された重要なコンセンサスの下、省エネ・CO₂削減、都市リノベーション、文化・観光、医療・衛生、ファッション・クリエイティブ・デザイン等の分野における実務協力を深め、中国とイタリアの全面的な戦略的パートナーシップを新たなステップに押し上げるよう貢献していきたい（9月8日付『深圳特区報』）。

5. 王偉中・市党書記がベトナム共産党の上級幹部視察団一行と会談

●8日晚、王偉中・市党書記が陳文山・ディエンビエン省党書記率いる上記一行と会談。王書記は市党委員会・市政府を代表し、一行の深圳市視察を非常に歓迎し、次のように述べた。双方は両党、両国指導者が合意した重要なコンセンサスを真剣に実行し、貿易、科学技術、観光、教育等の分野における実務協力を強化し、中国・ベトナム（深圳・ハイフォン）経済・貿易協力区の建設を更に推し進め、豊かな成果によって、中越関係を絶えず前向きに発展させていくことに、より大きな貢献をしていきたい（9月8日付『深圳特区報』）。

6. CGN華盛投資有限公司が「債券通」に参加

●先頃、CGN（中広核）華盛投資有限公司は、中国人民銀行から「債券通（ボンド・コネクト）」への登録・参加を認める通知を受け取り、現在、オフショアで「債券通」を認められた約150社の中で、初の中央国有企業によるオフショア資産管理センターとなった（9月8日付『深圳特区報』）。